

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門 総務-21 市民税賦課事務						
主管課	市民税課	関連課					
分野名	行財政運営						
目標 (目標値)	効率の良い事務の執行						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳) ・事業の対象者数は 給与特徴前年繰入分 を除き、年金特別徴 収対象者を加える方 法に変更した。(23年 度から変更)		
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数	105,040人	103,097人	102,840人			
決算値(千円)	30,299	18,165	37,040				
運営資源状況	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	30,299	18,165	37,040			
	人員配置数	19.0人	19.0人	19.0人			
	人件費(千円)	147,080	156,522	176,368			
	協働のパートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	177,379	174,687	213,408			
	市民1人当りの経費(円)	997	986	1,204			
	対象者1人当りの経費(円)	1,689	1,694	2,075			
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
職員の平均年間超過勤務時間の削減	◎	目標値	250時間	250時間	250時間	250時間	100時間
		実績値	464時間	346時間	205時間	116時間	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
市民税賦課業務	30,299	市民税賦課業務	37,514	今後の方向性	B	理由・手法	法令に基づき賦課する。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	効率的な事務処理を目指し超過勤務を削減した。今後も、より効率的な事務処理を行うことが必要。											
課題解決のための取組	事務改善を遂行し、事務内容の見直しを行った。					取組の結果	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 未解決					
未解決の課題	事務処理上の問題点を細部まで見直し、来年度へ向けて更なる改善に努める。											
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	法令に従い正しく賦課するとともに、事務処理内容の改善を進める。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡ B				
※□事業完了												

評価者名

市民税課長

二階堂 昌喜

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
市民税賦課事務	・個人市民税は、1月1日現在鎌倉市内に住所のある個人及び事務所・事業所または家屋敷がある個人を対象に課税した。 ・法人市民税は、鎌倉市内に事務所・事業所などがある法人を対象に課税した。				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		606	事務補助嘱託員報酬 3人	3,085	3,084	○	○	○	○
		606	臨時的任用職員賃金	4,591	4,267	○	○	○	○
		606	会場使用謝礼報償費	15	0	○	○	○	○
		606	事務補助嘱託員費用弁償	283	186	○	○	○	○
		606	賦課用封筒等消耗品費	2,093	1,839	○	○	○	○
		606	納税通知書等印刷製本費	3,136	2,178	○	○	○	○
		606	課税データ入力業務委託料(市県民税申告書)	473	283	○	○	○	○
		606	課税データ補筆点検及び入力業務委託料(給与支払報告書)	10,694	4,635	○	○	○	○
		606	課税データ入力業務委託料(確定申告書)	0	560	○	○	○	○
606	課税データ入力業務委託料(年金支払報告書)	483	47	○	○	○	○		
606	新システム修正業務委託料	16,170	12,285	○	○	○	○		
※ 事業完了	606	鎌倉税務署管内二市一町共同事業費負担金	1,587	927	○	○	○	○	
606	扶養親族申告書作成にかかる負担金	9	8	○	○	○	○		
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※ 事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※ 事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※ 事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※ 事業完了								